

夢を持ち を育み を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

Murofessional 2nd～勇気～

(むろふえっしょなる セカンド)

vol. 5

R 3. 7. 2 0 文責：村田典子

前期前半終わる・・・お世話になりました

昨年度は、49 日間の授業日数でしたが、今年は 70 日間の授業日。運動会は延期したものの、4 月の保護者面談、7 月の授業参観、そして 5 年生の集団宿泊教室・・・と、昨年度はコロナ禍で断念した行事が、今年は、三密防止、予防の徹底等しながら、実現できました。保護者の皆様のご理解とご協力のお陰です。ありがとうございました。

思えば、この長く続く“With コロナ”の生活で、工夫すること、折り合うことが身に付いてきたようにも思います。

最後になりましたが、7 月 10 日（土）の授業参観は 565 名の保護者（のべ数）の方にご来校いただきました。子供たちは、いつも以上に張り切っていました。雨の中のご来校、ありがとうございました。



“虎の巻”コメントのお礼

7 月 5 日に公開した「虎の巻」には、70 名を超える方から、文字サイズや内容に対するアドバイスや要望、励ましの言葉等々のコメントをいただきまして、ありがとうございました。子供たちからのお礼のメッセージをお伝えします。

お仕事ご多忙の中、「虎の巻」に対するご意見を下さって誠にありがとうございました。いただいたご意見をもとに、新たにアップデートしてまいりますので、ご支援宜しくお願いします。（児童会 羽田み奈・佐々木百華）

コメントも一つご紹介します。

“「きまり」「学習」「お知らせ」からなる室小「虎の巻」は、一目見て大変分かりやすく、すばらしいと思います。自分たちで考えるきまりや学習の仕方、考え方そして学校のお知らせ・スケジュールなどが、一目瞭然で理解しやすいと思いました。全校で共有できるといいなと考えます。

これは、学校生活を送るうえで強力な道標となります。

私たちボランティアや室っ子応援団・地域の役員や住民の皆さんにとっても、この「虎の巻」があれば、子供たちとの接し方も統一見解・理解ができて、学校行事やスケジュールが一目で分かり、一層の応援ができるのではないかと思いますし、助かります。

子供たちへのサポートもとてもやりやすくなります。「虎の巻」素晴らしい取組だと思います。“

（地域コーディネーター 首藤様）

夏休みは“自己管理能力”

昨年度と比べると今年の夏休みの特徴は大きく 3 点。①昨年度は、8 月 7 日が前期前半の終了でしたが、今年は例年並みの長さ（36 日間）。（昨年は 18 日間）

②タブレットの持ち帰り ③オリンピック・パラリンピックの開催

例年とは違う、楽しい材料のある長期休業期間になります。オリパラの放送を長時間見続ける、タブレットを長時間扱うなど、自分の気持ちのままに生活、行動してしまうことも心配しています。特に、タブレットに関しては、先日配布したプリント（バスキャッチでも周知）をもとに、活用場面、保管場所の確認を含めて、ご家庭でのご指導をお願いします。この長期休業期間は、学校でお預かりしていたお子さんをご家庭にお返しする期間でもあります。本校で大切にしている 6 つの資質・能力の一つである「自己管理能力」が育つ機会でもあります。どうぞ、お家でも声かけ、励まし等を宜しく願っています。

安心・安全で充実した夏休みを過ごして、8 月 26 日（木）には、皆揃って元気に登校できますように。



* 本校の「自己管理能力」の定義：自分を律して心と身体の健康を保ち、あきらめずに継続しながら取り組む 今日の自分を振り返りながら、成長を実感するとともに、今日よりいい明日にするために何をすべきかを考える

人権集会で学びを振り返る・・・日常化へ

人権月間の締めくくりは学年の人権集会。各学級の学びを共有化し、広げ、深める人権集会がどの学年でも行われています。



代表児童が自分の経験や思いを発表し、その発表を聴く他の子供たちが、自分を振り返りながら、気付いたこと、考えた事、感じたこと等を返していきます。ある学年では、発表内容に対し、自分も見ていたのに止められなかったこと、自分もいやな言葉を言っていたことを省みる場面もありました。どの学年の子供たちもよく手を上げて発言します。なかまのメッセージを受け止めている証だなと嬉しくなります。

今年の二つの人権スローガンを改めて紹介します。（3 号でも掲載しました）

●おかしなことに気づき、その場で自分の気持ちを勇気を持って伝えよう。

●注意された人は、相手に気持ちを聞き、自分から考え、行動を変えよう。

当たり前のことなのですが、実際に実行に移すのは、どちらも勇気と覚悟のいる行動です。けれども、皆が行動できれば、もっとすばらしいなかま、学級、学年、学校になっていくはず。今回のこの学びが、子供たちの心に根付くことを願います。

